

(書式3)

全教科についての指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	数学科	
-----	-----	--

1. 指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

<第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・「生徒による授業評価アンケート」(7月実施)では、学習形態にバリエーションが少ない、という意見があった。	<ul style="list-style-type: none">・これまでの基礎・基本の定着を目指した丁寧な授業に加え、グループ学習や発表に重点をおいた授業も実施する。・ICT機器を活用した授業も取り入れたい。	<ul style="list-style-type: none">・授業内の確認テストにおいて理解が不十分な生徒を把握して、演習の時間で個別指導を行う。・生徒の興味を引く発展的な学習内容を単元ごとに準備し、計画的に実施する。

<第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・3月の定期考査で平均点が61.9だったところから、6月の定期考査では平均点が67.2まで上がり、点数が1ケタの生徒もあらず、基礎的な学習内容の定着が見られた。・7月に行ったアンケートでは、学習形態にバリエーションが少ないという意見が多かった。	<ul style="list-style-type: none">・習熟度に応じて基礎的な学習の定着を目指し、繰り返し同じ学習を行う関係上、意図的にバリエーションを限定している場合がある。・それ以外に工夫できる点、グループ学習や体験学習等、タイミングを見て授業に取り入れる。	<ul style="list-style-type: none">・小テストや課題を通し、理解が不十分な生徒を掌握し、演習の中でアドバイスを多くしていく。・課題を消化してしまった生徒には、プリントや板書により発展的な内容に挑戦させ、時間を有効に活用するよう心がける。

<第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・7月に行った授業評価アンケートでは、学習形態にバリエーションが少ない、演習時間が十分ではないという意見があった。・今年度の発展クラスは専任が3時間で授業を進め、講師が1時間で演習を行う形になっているため専任の授業で様々な学習形態をとったり演習を行ったりする時間が十分に確保できない。	<ul style="list-style-type: none">・数学は、数量関係や図形などの問題を通して筋道を立てて考えていく力(論理性)を育てる教科であるということを強調していきたい。・班での意見交換や発表形式、小テスト・確認問題などを通して、小ステップで考え方を高めていくようにする。・家庭学習で演習を補ったりする必要性も訴えていく。・夏休みには、1,2年の内容がしっかり復習できるような課題により総合力を高めていく。	<ul style="list-style-type: none">・全国学力調査問題の基礎的・基本的な問題や、読み解く問題などを参考に、確認問題や課題プリントを作成し指導に生かしていく。・教科書の内容もほぼ終わるので、単元毎の問題だけではなく、いくつかの融合問題についても扱っていく。